

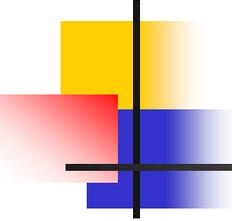
# 公認会計士に期待される役割 -証券取引等監視員会の観点から-

金融庁

証券取引等監視委員会

事務局長

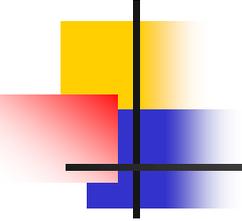
佐々木清隆



# *Agenda*

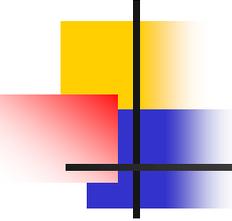
---

1. 会計監査の重要性の高まり
2. 公正な証券市場と会計監査：  
証券取引等監視委員会の活動
3. 公認会計士への期待



---

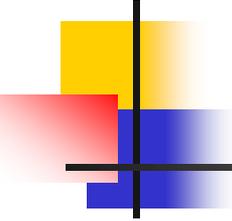
# 1. 会計監査の重要性の高まり



# 会計監査の重要性

---

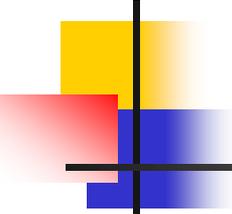
- 適正な企業開示
- 公正な証券市場
- コーポレート・ガバナンスの強化
- 金融システムの安定性
- 経済の持続的成長



# 適正な企業開示の要請： 不正会計、粉飾の増加

---

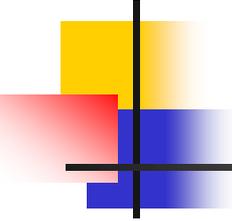
- 経済環境の変化
- 企業のグローバル化；海外拠点での不正の増加、グループ監査の重要性
- 複雑な取引の増加：特に金融商品
- 適正な企業開示への関心の高まり；海外投資家の関心（ESG投資）
- 内部通報制度の整備等内部告発の増加



# コーポレートガバナンス強化

---

- 規制等の変化：会社法改正、コーポレート・ガバナンス・コード、
- 取締役会機能の強化；特に社外取締役
- 監査機能の強化：監査役会（委員会）の機能の強化
- 内外投資家のコーポレートガバナンスへの関心：スチュワードシップ・コード

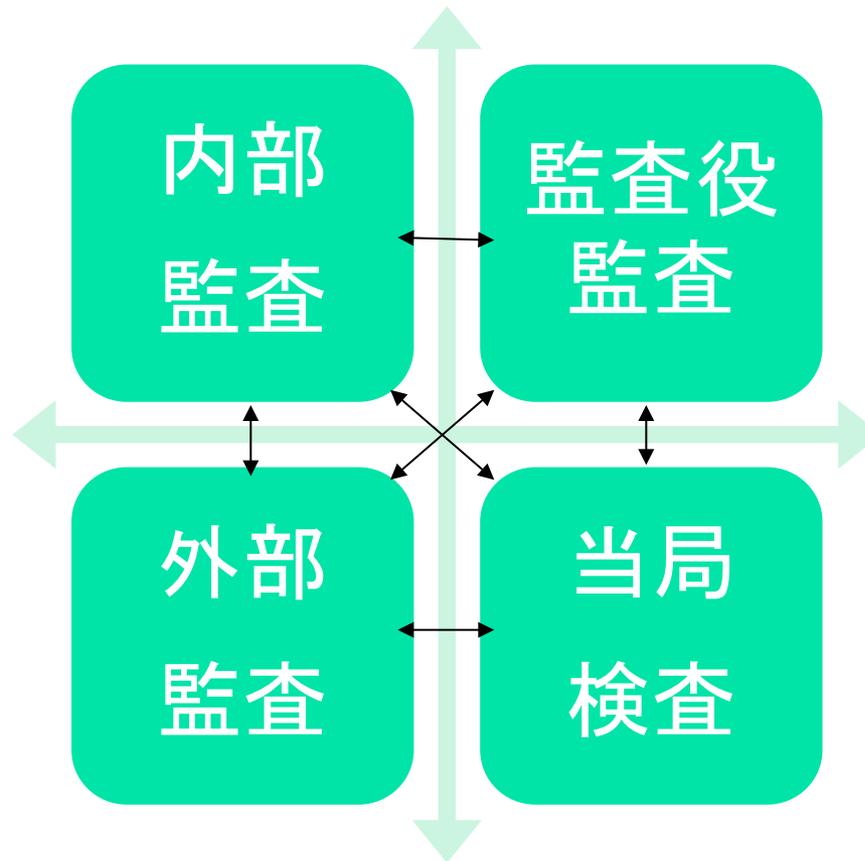


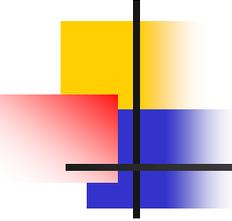
# 金融システムの安定性

---

- リーマンショック後の規制の見直し
- コーポレート・ガバナンスの重視; risk appetite, risk governance, risk culture
- 取締役会の実効性
- 監査機能の重視: 内部監査、外部監査、監査役監査・audit committee

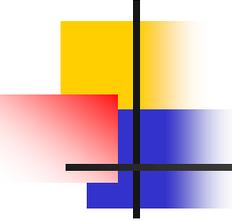
# 金融機関の四様監査の連携





---

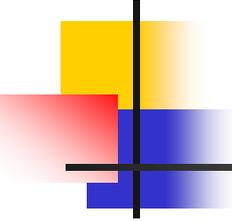
## **2. 公正な証券市場と会計監査: 証券取引等監視委員会の活動**



# 公正な証券市場における 公認会計士

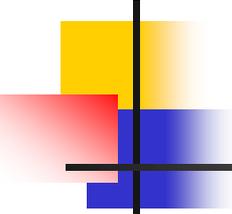
---

- 適正な企業開示の確保：企業の有価証券報告書の監査
- コーポレートガバナンス強化の上での役割：特に監査機能の強化、三様監査の連携
- 会計士自身の不正取引：インサイダー取引等



# 証券取引等監視委員会の機能

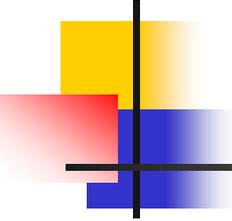
- **Mission:証券市場の公正性・透明性の確保**
- **手段**
  - **市場監視:動向分析、個別取引審査**
  - **取引調査:インサイダー取引、株価操縦、風説の流布等**
  - **開示検査:有価証券報告書等の検査**
  - **証券検査:金商業者への検査**
  - **犯則調査:令状に基づく強制調査、告発**



# 監視手法の多面的・複線的活用

監視委の持つ検査・調査の直接の出口（行政処分勧告、課徴金勧告、刑事告発等）以外の出口を意識した検査・調査の実施

- ① 検査・調査手法の多様化：簡易検査、テーマ別検査、金商業者・上場企業のガバナンスを意識した検査等
- ② 監視委内の各課における検査・調査の連携強化
- ③ 金融庁におけるマクロプルーデンスへの貢献（ミクロからマクロへの展開）：検査・調査結果等から見えてくるマクロ視点での問題提起（建議、法制度の改善提言、自主規制機関等への問題提起等）



# 市場のグローバル化への対応

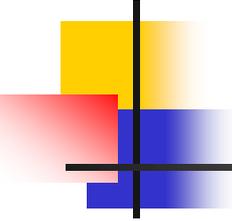
---

## ①機動的かつタイムリーな市場監視

- クロスボーダー取引の監視強化
- グローバル企業のディスクロージャーの適切性の検証（開示検査）

## ②海外当局との更なる連携強化

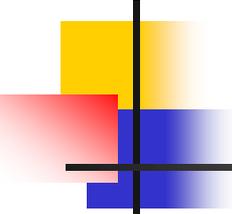
- 海外当局との意見交換等、国際的な情報交換の枠組み等を積極的に活用
- 意見交換や人材交流等を通じた海外当局との人的ネットワークを強化



# 不公正取引等に対する厳正な対応

---

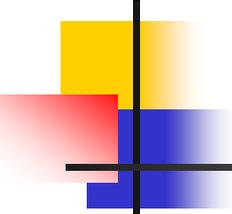
- 犯則調査権限の活用
- 課徴金調査による迅速な対応
- 監視委だけでなく関係当局、海外当局と連携した対応



# 市場規律の強化(1)

---

- 事後チェック・摘発だけでなく、未然予防の重要性
- そのための市場参加者(上場企業、自主規制機関、投資家、弁護士、監査法人等)の規律強化
- ① 監視委が「監視している」ことについての認識度の向上
  - ・多様な監視手法の柔軟な運用(簡易な調査・検査等)
  - ・監視委の存在の「見える化」(disclosureでの言及等)



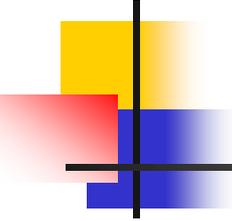
## 市場規律の強化(2)

### ②上場企業等のガバナンス強化に向けた取り組み

- ・法令違反等の指摘に留まらない「根本原因」(Root Cause)の究明:ガバナンス、人事、報酬等との関係。
- ・インサイダー取引の重要事実から見えてくる上場企業のガバナンス;情報管理態勢、業績の下方修正等の場合の当該企業の適正開示への懸念(開示検査への応用)

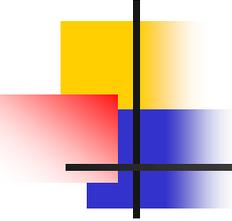
### ③検査・調査等から浮かび上がる問題について、目的、メッセージ、ターゲットをより明確にしたアウトリーチの実施

- ・自主規制機関、上場企業、業界団体(監査役協会、日弁連、会計士協会等)等への展開を、よりプロアクティブに拡大・深化



# IT技術の進展を踏まえた市場監視

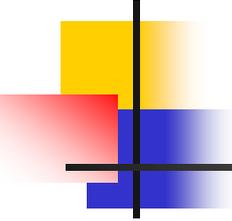
- Digital forensicの活用：態勢強化、関係機関との連携
- 監視委市場監視システムの高度化：アルゴリズム取引への対応、証券取引所との連携
- FinTechに対応した監視のあり方の検討；投資アドバイス、資産運用業に与えるFinTechの影響の分析等



## *IPO及びequity financeへの対応*

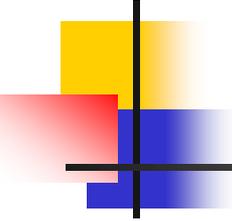
---

- IPOをめぐる対応：証券取引所、証券会社、監査法人等
- Equity financeの問題：不公正ファイナンス、ライツ・オファリングの悪用、JPXによるプリンシプルを踏まえた連携



# 機動的な開示検査

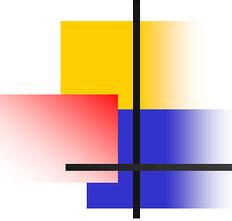
- 不公正ファイナンス企業等への対応：継続監視、犯則調査、上場廃止
- それ以外の上場企業への開示検査の見直し
  - 経営環境の変化等に伴うリスクの分析；中国経済減速や資源価格低下の影響を受ける業界等
  - 簡易検査、テーマ別検査の活用
  - 虚偽記載の対象：定量面のみならず定性的記述
  - 開示検査の出口の多様化：課徴金、訂正命令に加え、自主訂正等（合わせて、監視委の見える化）
  - 虚偽記載の根本原因としてのガバナンスの強化：取締役会、監査役会への働きかけ



# 会計監査の質の向上

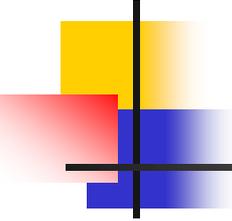
---

- 会計監査のあり方の検討:「会計監査のあり方に関する懇談会」(10月～)
- 監査法人監査の質の検証強化
  - 公認会計士・監査審査会によるリスクベース検査、
  - 「根本原因」としての監査法人のビジネスモデル、ガバナンスの検証



---

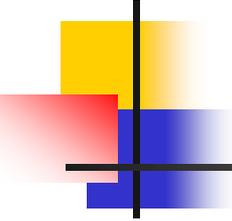
# 3. 公認会計士への期待



# 公正な証券市場の *gatekeeper*として

---

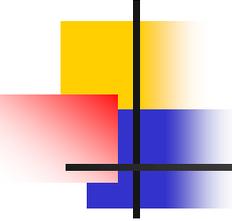
- 「職業的懐疑心」: それほど難しいことか？
- 準拠性の監査に留まらない、「根本原因」の究明
- テクニカルな観点だけでなく、「常識」の重要性
- 「木」を見るとともに、「森」を見る鳥瞰的視点
- 事後チェックに加え、未然予防の重要性



# 金融監督・検査における視点： *3 lines of defense*

---

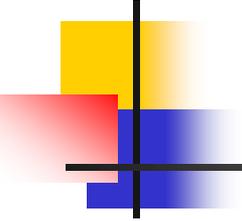
- 1<sup>st</sup> line of defense; ビジネスモデル、戦略
  - 2<sup>nd</sup> line of defense; リスク管理、コンプライアンス
  - 3<sup>rd</sup> line of defense; 内部監査
- 特に 1<sup>st</sup> line of defenseの重視; ビジネスモデルの変化、その持続可能性等



# ミクロの視点に加え マクロの視点

---

- マクロ経済動向への関心：中国経済減速、原油価格下落、新興国経済等
- 会計面以外の情報への関心；グローバル化、IT化、不祥事等（金融庁、監視委等情報）
- 業界横断的な視点：テーマ別、水平的観点、同業他社比較



---

ありがとうございました